



学校だより

9月号



平成27年9月1日発行
さいたま市立本太小学校
Tel 048-882-3007
<http://motobuto-e.saitama-city.ed.jp>
e-mail motobuto-e@saitama-city.ed.jp

「実りの秋」に

校長 井出 了一



「おはようございます」夏休みを終えて一回り遅くなった子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。休み中も、地域や保護者の皆様の御協力により、子どもたちは事故なく元気に過ごすことができたようです。歓声をあげていたプールの行き帰りにも、炎天下の交差点で子どもたちを見守っていただく姿がありました。心より感謝申し上げます。

2学期は、残暑の厳しい中から冬至過ぎまでの長い学期です。これから徐々に秋も深まり、読書の秋・スポーツの秋・食欲の秋・・・、学校でも様々な行事が予定されています。今月26日(土)の運動会をはじめ、修学旅行、学校公開、持久走記録会、サッカー大会、各学年の遠足や社会科見学もあります。普段の学習の一層の充実とともに、様々な行事を通して、心も体も元気いっぱいの本太っ子の育成を目指してまいります。引き続き御支援・御協力くださいますよう、よろしく願いいたします。

さて、夏休み中の土曜日の夜、学校からも程近い青少年宇宙科学館の「天体観望会」に、講師の一人として参加してきました。科学館では毎月、星を見る会(天体観望会)を行っています。私は理科が専門ですので、開館当初から年に数回ボランティアでお手伝いしています。当日は昼間の猛暑が残り、蒸し暑い屋上でしたが、空には上弦の半月や夏の大三角が輝き、望遠鏡で月のクレーターや土星のリングが見えると歓声が上がりました。

この観望会に来られる方の年齢層はさまざまですが、多いのは子ども連れの御家族と、老夫婦などシニア層の方です。家族連れは「子どもにせがまれて」「学校で習ったので」という方が多く、シニア組は「仕事をリタイアして空を見上げるゆとりができた」「関心があったが多忙で遠ざかっていた」「日本人宇宙飛行士のニュースなどで興味を持って」など、純粹に星空へのロマンや自己啓発を語られる方が多いようです。皆さん、星々をつないで星座を見つけたり、望遠鏡で目的の天体が見えたりすると、とても嬉しそうに感動を表してくれます。自分の世界を広げようという意欲を持った方と接するのは、実に楽しいことです。

ところで、今月27日は「十五夜(芋名月)」です。旧暦では7・8・9月が秋、そのまん中にあたる旧8月15日の月が「中秋の名月」です。旧暦では15日がほぼ月齢15(満月)となります。お月見は古く大陸から伝来したもので、宮中の「観月」が庶民にも広まり、秋の収穫を天に感謝する農耕習慣と結びついて「十五夜行事」が形成されたそうです。ススキや花を飾り、お団子や農作物などのお供え物をするのが一般的です。秋は、大陸から張り出す乾燥して澄んだ大気におおわれることが多く、月の光が一層冴えて美しく見えます。ぜひお子さんと一緒に「お月見」など楽しんではいかがでしょうか。

※子どもたちの夏休み中、学校では複数の工事が行われました。洋式トイレの増設、昇降口のタイル補修、北校舎教室の後ろ黒板の張り替え、校庭の夜間照明の改修などです。(詳細は裏面)
トイレの業者さんは施工後、壁の汚れを落としたり、手洗い場をブラシで擦ったりして、とても綺麗に仕上げてくださいました。この気持ちをくんで丁寧に使っていききたいと思います。

